



家畜市場 価格の推移 (7月)

▼子牛価格(三次市場)

(単位:円・頭・kg・%)

種類	入場頭数	成立	取引	最高	最低	平均	体重
スモール	雌	10	10	100.0%	101,850	4,200	17,535
	雄	218	215	98.6%	86,100	4,200	57,865
計	228	225	98.7%	101,850	4,200	56,097	57
F1	雌	147	137	93.2%	178,500	42,000	134,328
	雄	161	157	97.5%	240,450	32,550	177,671
計	308	294	95.5%	240,450	32,550	156,985	55
ホルス(5才) 雌	55	54	98.2%	352,800	27,300	197,725	740

▼搾乳素牛価格(北海道)

(単位:円・頭)

市場	開催日	出場頭数	成立頭数	成立率	最高価格	最低価格	平均価格
南北海道	5日	71	68	95.8%	695,100	262,500	455,175
十勝	8日	689	571	82.9%	715,050	276,150	531,044
釧路	9日	242	161	66.5%	631,050	363,300	490,630
北見	10日	344	259	75.3%	621,600	294,000	489,738
根室	11日	415	298	71.8%	731,850	304,500	500,117
豊富	12日	352	222	63.1%	588,000	277,200	469,175
合計		2,113	1,579	74.7%	731,850	262,500	489,313

業務報告 (7月分)

- 1日 安芸高田市受精卵推進会議
- 2日 JA広島県農協中央会記者懇談会
- 3日 広島県畜産振興協議会幹事会
- 4日 庄原みらくの会県外研修
- 5日 JA中堅職員研修(2日間)
- 6日 中販連理事会・受託販売委員会
- 7日 広島西部ミルク会研修会
- 8日 飼料利用推進委員会
- 9日 中国B&W決算報告会
- 10日 東部管内女性部日帰り研修
- 11日 HJC通常総会
- 12日 TPPについて考えるシンポジウム
- 13日 JA全国監査機構予備監査
- 14日 三次市酪農振興会通常総会
- 15日 千代田町酪農協議会役員会
- 16日 畜産協会事業事前打ち合わせ会議
- 17日 全酪連ブロック別組会長会議
- 18日 甲奴・神石合同畜魂祭
- 19日 牛乳消費事業企画運営会議
- 20日 衛生指導協会事業推進会議
- 21日 庄原地区畜産共進会
- 22日 世羅郡酪農協議会総会
- 23日 JA全国監査機構一般監査(4日間)
- 24日 ヘルパー調整会議
- 25日 広島県農業信用基金協会総会
- 26日 牛乳消費事業企画運営会議
- 27日 三原市酪農振興協議会総会
- 28日 安芸高田市酪農連絡協議会総会
- 29日 第6回理事会
- 30日 公取協上期ブロック会議
- 31日 酪政連・酪農協会臨時総会
- 山陽乳業(株)経営検討会
- 西部地区連絡協議会役員会
- 広島県牛乳普及協会総会
- JA初級職員研修(2日間)
- 芸北酪農部会総会
- ひろらく女性グループ連絡協議会委員会
- 日本酪農政治連盟全国酪農氏大会・デモ行進

編集後記



▼(一社)中央酪農会議は六日、飼料高騰を背景にした乳価引き上げで乳業メーカーが牛乳の値上げを予定する中、牛乳の消費減を防ぐため、消費者らへの広報活動を強化すると発表した。

▼活動は、消費者への牛乳価格の改定伝達、流通関係者向けには、牛乳製品の基礎知識に関する資料発行及びセミナー開催、街頭イベントでパンフレット配布、テレビコマーシャルの放映だ。

▼平成二十一年度乳価値上げでは、飲用牛乳の売上げが10%低下した教訓から、この歯止めを行いたいとの考えがある。

▼十月から牛乳の小売価格改定と報じられるが、是非とも足並みが揃い、しかも、消費者による購買力が低下しないほしい。

▼牛乳飲用の効果として、熱中症予防、安眠効果、ヨーグルトによる整腸作用など人間の生命・健康維持にとっても、この摂取が良いことは承知のとおりである。

市町別生乳受託量の進捗状況(7月)

(単位：トン)

市町名	生乳生産量	生産占有率	前年比(同月)	25年度累計	前年比(累計)
庄原市	961.2	21.6%	99.9%	3,915.0	99.2%
三次市	859.1	19.3%	97.8%	3,581.9	101.2%
世羅町	549.7	12.3%	108.6%	2,131.7	104.2%
北広島町	473.9	10.6%	91.8%	1,964.5	93.4%
安芸高田市	373.6	8.4%	91.6%	1,575.3	92.3%
東広島市	344.5	7.7%	92.9%	1,398.0	91.9%
府中市	255.5	5.7%	94.6%	1,043.7	92.8%
広島市	191.4	4.3%	99.7%	779.5	94.1%
福山市	125.0	2.8%	98.4%	530.9	94.6%
三原市	116.7	2.6%	100.8%	460.4	100.6%
神石高原町	99.8	2.2%	106.5%	412.2	104.5%
廿日市市	57.9	1.3%	84.4%	260.9	91.7%
呉市	49.9	1.1%	91.2%	199.0	98.3%
合計	4,458.2	100.0%	97.7%	18,253.0	97.5%

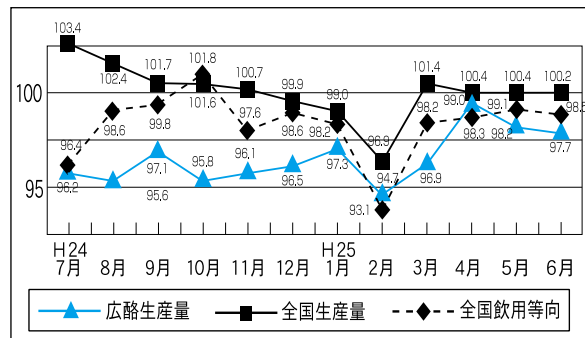
生乳受託実績(7月)

地域	備北	南部	西部	東部	合計
生乳出荷組合員戸数(戸)	45	12	50	47	154
生乳出荷量(トン)	1,606.6	394.4	1,096.7	1,360.4	4,458.2
前年同月対比(%)	98.0%	92.7%	92.5%	103.5%	97.7%
前月対比(%)	99.0%	102.5%	99.3%	101.5%	100.1%
生乳出荷累計(トン)	6,600.5	1,597.0	4,580.2	5,475.3	18,253.0
広酪構成比(%)	36.2%	8.7%	25.1%	30.0%	100.0%

市町別の生乳出荷組合員による購買品利用高の状況(6月)

No	市町名	購買品利用高(千円)	生乳出荷量(トン)	購買品利用占有率	生乳1kg当たりの購買品利用高(円)
1	庄原市	45,874	963	28.1%	47.6
2	三次市	36,158	875	22.2%	41.3
3	安芸高田市	18,271	383	11.2%	47.7
4	北広島町	16,333	473	10.0%	34.5
5	府中市	14,595	257	8.9%	56.8
6	世羅町	6,211	527	3.8%	11.8
7	三原市	5,840	112	3.6%	52.1
8	東広島市	5,693	337	3.5%	16.9
9	福山市	5,267	129	3.2%	40.8
10	神石高原町	3,658	97	2.2%	37.7
11	廿日市市	3,134	63	1.9%	49.8
12	広島市	1,540	183	0.9%	8.4
13	呉市	504	46	0.3%	11.0
合計		163,077	4,451	100.0%	32.7

生乳需給の前年比推移(6月) (単位：%)



▼しかし、このことは酪農業界の仕事に携わる人にとってはごく当たり前と認識していても、一般消費者には必ずしもそうはなっていないのでは無いか？

▼「当たり前」と考えるのが「常識」で、「当たり前でない」が「非常識」なのか。さておき、改めて牛乳・乳製品の良さを一般消費者にアピールし、牛乳・乳製品は人間の生命維持にとっても重要であると「当たり前」の認識を高めることが重要であろう。

▼日本の総人口一億二千七百三十五万人(平成二十五年七月現在)、平成二十四年度国内の生乳生産量は、七千三百二十九トン。

▼平成二十四年度の国内生乳生産量と日本総人口から一人当たりの年間牛乳消費量を単純計算すると年間五十七・五kgとなり、一日当たりでは、百五十七gになる。

▼牛乳飲用量の消費拡大が消費者により浸透し、牛乳を買い求めて戴くことを願う。

▼広酪市乳販売促進課の河内山職員は、こうして叫ぶ！
悲願成就をウォー！！